

日本語から英語への同時通訳の実際

- 各党の代表による政治討論会の場合 -

神部尚武（国立国語研究所） 木原寛子（フリーランス翻訳者）

1996年9月27日、この日の昼に、国会が解散され、これをうけて、同じ日の夕刻、7時からNHKニュース7で、各党の代表による政治討論会が開かれた。

この討論会は、出席者が一堂に会して行われたのではなく、各党の控室にサテライトをおき、スタジオにいるキャスターと司会者を結んで、テレビ会議の形式で行われた。

この会議は、7時のニュースの時間にリアルタイムで行われており、純粋な同時通訳である。放送通訳の形式による分類では、いわゆる純ナマに当たり、放送通訳ではほとんどが時差通訳で行われるが、この日は緊急性が重視され、ぶっつけ本番で同時通訳が行われた。この機会をとらえて録画して、貴重な録音資料を提供して下さった水野的さん（放送通訳者、通訳理論研究会世話人）に感謝したい。

以下は、発言毎に、日本語の発言と、英語への同時通訳を、文字に書き表したものをかかげる。出来るだけ忠実に文字に置き換えようとしているが、言いよどみ、不必要な繰り返し、問投詞などは省略したことがある。訳出された英語から、通訳者が、発言をどのようなまとまりとしてとらえているかを調べて、このまとまりで発言を / / でくぎって示した。

また、資料の一部について、日本語の発言のまとまりに対して、通訳者が一つのまとまりとして英語で訳しはじめる時点調べて、対応する場所に t1, t2 というように、おおまかな時刻を示した。例外はあるが、発言のまとまりの終了の時点と通訳者の訳しはじめる時点はほぼ一致している場合の多いことが示されている。

もとの発言で通訳されなかった部分は () でくくって示した。もとの発言にないのに通訳者がつけくわえた部分は [] で示した。

つぎに示す部分は、今度の総選挙を、各政党はどのようにとらえ、国民に何をうつたえるのかという司会者の質問に答えて、各党の代表が、順に答えている。各党の代表は、この質問のあることを予想して、あらかじめ話すことを用意しており、通訳者の側も、各政党の日頃の政策を知っているので、各人がどのような内容について話すかということも、かなり予想できるという状況で、比較的滑らかに同時通訳が行われている。

発言（1）

『過去3年、いろんな政党ができたり、総理大臣がうまれたり、t1（激しいことがありました）。 / / そして、国民の皆さんから、政治が混乱しすぎてるのではないかと、t2 / / 1回整理するための選挙をやったらいいいんではないかという声（だいぶあったとおもいますが・ ・ ・）t3 / / それに答えた選挙、t4 / / こわれた政治を、もう1度再建するための、t5 / / その（整備のための）選挙というような感じがします。t6』

t1 Past three years, [four] administrations came and went.

t2 The public seem to feel that politics are in confusion.

t3 So that is why the election should be held.

t4 We responded to such a public opinion .

t5 So we are going to restore the broken politics.

t6 So this is the election [for justice] .

発言(2)

『今度の解散は、t1 / 政策の手詰まりと t2 / 疑惑逃れのための解散とおもいます。 t3. / / 選挙の争点ですけれども、 t4 / 政治が(今 - 番もとめられているのは)、t5 / 国民の暮らし、生活、これが安定するように、t6 / / そのために、t7 / 日本の国のいろいろの制度について、根本的にその仕組みをかえなければいけないではないか、t8 / / このことが問われる選挙であると位置づけしております。 t9』

t1 The dissolution itself t2 / was a result of the impasse t3 / and to avoid suspicion surrounding scandal.

t4 As for this coming election , t5 / in politics , t6 / politicians are asked to provide stability to people's lives.

t7 For that purpose t8 / politicians must change fundamentally various systems of this country.

t9 And that is what is going to be at stake in coming election.

発言(3)

『(一言で言えば、) 21世紀への新たなドラマをここから始めるという選挙だとおもいます。 t1 / / 3年ちょっと前に t2 / 38年ぶりの政権交替が実現して、t3 / / (わたしども万年野党は卒業しまして) 政権に参加しました。 t4 / / 21世紀まであと4年、t5 / / (つぎの世紀を確かなものにしなければなりません)。そういう意味で t6 / 社会民主党は平相の面で一番貢献した党だと思えます。 t7 / / 党は(働くものの代表、)そして社会的弱者の味方ということでやってまいりました。t8 / / (いま行革の問題についても) 言葉より実行とおもいますが、 t9 / / わたしも与党のプロジェクトチームの座長でまとめさせていただきましたが、t10 / / (そういう大きな柱をつぎに向けてどう設計するのか、) そういう意味でなくてはならない政党として、社会民主党は力をつくして燃やしつくして頑張りたいとおもっております。 t11』

t1 This is the beginning of the drama for the 21st century.

t2 Three and half years ago , t3 / the administration changed for the first time in 38 years.

t4 And the Social Democratic Party joined the ruling coalition.

t5 And there are only 4 years left before the 21st century.

t6 And in that regard t7 / the Social Democratic Party made the largest contribution for the peace of the world.

t8 And also the Party has been standing by for the socially disadvantaged people.

t9 And we believe in deeds rather than words.

t10 And I chair the coalition parties future project.

t11 And we would like to burn every energy that we have for the future of this country.

発言(4)

『(わたしは) 今度の総選挙は、 t1 / 3年あまり続いた連立政権の是非を、国民に問う選挙 t2 (にしたいとおもうのです)。 / / 4代にわたる内閣が交替しました。 t3 / / 政党がくっついたり離れたり離合集散をくりかえしました。 t4 / / そういう政治が国民になにをもたらしたかといえば、t5 / 消費税の増税であり、t6 / お米の輸入自由化であり、t7

／（年金の解約であり、）住専への血税の投入、 t8 / / 国民の痛みを痛みとして感じない
感覚麻痺の政治が横行しているとおもいます。 t9 / わたしたちは、そういう政治にきつ
ぱりと審判をくだして、 t10 / / （革新のすじをつらぬいてきた）日本共産党が大きく躍
進することで、 t11 / 政治を国民の手にとりもどす選挙にしていきたいと考えています
t12』

t1 In the coming general election , t2 / the coalition that lasted for the past three
and half years will be questioned.

t3 And four administrations came and went.

t4 And various parties joined and separated.

t5 But such politics brought t6 / the increase in the consumption tax t7 / and
the liberalization of the rice market t8 / and the problem of the housing loan
cooperation.

t9 And the politicians can no longer feel the pains of the people.

t10 And we want the justice be done , on such politics by the public in the coming
election.

t11 And we hope that the Communist Party will gain more seats t12 / so that we can
gain back the politics into hands of the people.

発言（ 5 ）

『この前の選挙から3年数カ月、 t1 / / 4人の総理大臣が誕生しましたが・ ・ ・ t2
/ / つみのこした課題を解決したといえるとおもいます。 t3 / / これからは新しい日本の
構造、仕組みをかえていかないと、 t4 / / いままでの延長線上では国全体が衰退して行く
だろうという、 t5（そういうときの選挙です）。 / / （わたしたちは一番最初に行政改革を、）
幸い今度の選挙ではどの政党も行政改革となえておられますので t6 / / これを本格的に実
行する絶好の機会だとわたしはおもいます。 t7 / / （メニューはいろいろの政党から出て
おりますが、）これを具体的に手順をしめして、つぎの政権で行政改革に取り組んで行く
体制をつくる t8 / ような提言をして行きたい、 t9（それにたいして国民の皆さんのご賛同
をいただきたいとおもいます。）」

t1 It's been more than three years since last general election.

t2 And four prime ministers worked over this time.

t3 And we believe that pending issues have been solved during this period.

t4 Now we have to look ahead to change systems.

t5 If we remain as we are now , the country will be ahead for demise.

t6 So administrative reform is going to be important as all the political parties are
contending.

t7 This election will be a good opportunity for the public to see what kind of measures
will be the best form to the administrative reform.

t8 And next administration should carry out the administrative reform.

t9 And our party will present a concrete plan to do that.

発言（ 6 ）

『3年前政権が交代して、 t1 / / 大きく政治が変わるか国民の皆さん期待をされたの
ですが、 t2 / / 確かに政党のいろいろな枠組みは変わったのですが、 t3 / / 国民と行政
の関係てのは変わらなかった、 t4 / / （変わらないどころか。）ますます行政が国民の信頼

にたるものではなくてきているわけです。t5 / / そういう点で、今回の選挙は t6 / 行政というものを国民のコントロールのもとにおくことができるかどうか、まさに選挙だとおもいます。t7 / / 民主党は明日設立の正式な結成となりますが、t8 / / そういう意味で質的な行政改革をきちんとやれる政党をめざしたいと、t9 / / そういうことで理解をいただきたい(とおもっています)。t10』

- t1 There was a big change in politics three and half years ago.
- t2 And public had lots of expectations .
- t3 And it's true that political party framework changed.
- t4 But the politics itself did not change.
- t5 Rather the administration lost public trust.
- t6 And in the coming election , t7 / we should bring the administration under the control of the people.
- t8 Our party will be officially founded tomorrow .
- t9 And we would like to appeal the qualitative administrative reform.
- t10 And that is the target of our new party.

発言(1)から(6)で、それぞれの日本語の発言と、訳出された英語をくらべてみると、同時通訳は、発言内容をほぼ正確につたえている。特に、発言(2)と(6)では、発言の内容が、完全につたえられている。発言(2)は、論理の組み立てが明快であり、無駄な部分がない。(6)は、やや冗長な話し方であるが、話の筋道がとれている。

これに対して、発言(3)では、いろいろなことがのべられているが、論理としてつながりがなく、言いたいことの焦点が不明である。省略されている部分の多くは、飾りの部分である。発言(5)の後半の『幸い今度の選挙では・ ・ ・。』以下の部分は、日本語として、かなり込み入った構造をもっている。発言で省略されて具体的に述べられていない部分に、そこに必要な情報を補って、発言を明確にしている。終わりの部分は、発言を要約しているが、簡潔である。

発言者の話し方の違い、あるいは論理の組み立て方の違いによって、通訳者の仕事は、おおきく異なる。発言(2),(6)を見る限りでは、通訳者の仕事は、発言を情報のまとまりごとに、英語に変えて行くという仕事を繰り返しているように見える。しかし、発言(5)に見られるように、あいまいな情報にたいして、情報を補ったり、発言を要約することが必要とされる場合がある。通訳者は、情報のまとまりごとに処理しながら、一方では発言の全体に対する処理もたえずおこなうことで、必要な情報を補ったり、省略したり、要約したりできるのではないかと考えられる。

発言(1)の最後の「整備のための」という箇所は、多分「正義のための」と聞き違えたためとおもう。「整理するための選挙」「こわれた政治を再建するための選挙」「その整備のための選挙」と呼応していることが、それぞれが別の情報として処理されたために、見過ごされてしまったのではないかとおもわれる。

次にあげるのは、他の人の発言について、反対する意見が出て、発言と発言が複雑に関連する場面である。行政改革で中央省庁の統廃合の問題について、本当にやる気があるのかどうか議論されている。

発言(7)

『わたしどもは、新進党としては、(昨年(1995) の段階で、暮れ(1996) の段階で、この法律もだしているわけです。第一段階としては、) 15 省庁に統廃合しようと、t1 / / (ところが、わたし非常に不思議なのは、) 今、加藤自民党幹事長、これからやるんだとおっしゃったけ

れども、t2 / / 今日の 12 時、お昼の 12 時まで、t3 / / 自民党、社民党、さきがけ、衆参両院で、圧倒的多数もっておられたわけですね。 t4 / / なぜおやりにならなかったか。 t5 / / (やろうとおもえば、やれたはずではなかったか。) わたしどもはそれをやるんだったら、積極的に協力したと。 . . . t6 / / それなのに、この 1 年近くの間、われわれが提出した法案を全く無視しておられたと。 . . . t7 / / これは不思議なんです。今からやろうと。 . . . どういうことかなと、おたずねしたい。 t8』

t1 Our plan is to reduce the number of the government agencies and ministries to fifteen.

t2 As Mr.Kato said that the LDP is going to carry out such a reform.

t3 But up until noon today , t4 / LDP , SDP and Sakigake had overwhelming majority on parliament.

t5 Why did you not carry that out ?

t6 We were ready to cooperate if your administration was going to do that.

t7 But in the past year , your party ignored the bills that we presented.

t8 I wonder why you suddenly say you are going to tackle this reform in spite of the fact you ignored these bills.

発言 (8)

『先程、今まで基礎工事をやっていたといいました。 t1 / / ですから、本当に、省庁の統廃合をやっても、中で、喧嘩してちゃ意味ないんで、その交流をやることを、(過去 2, 3 年) やってました。 t2 / / それから、今年は、(役所の仕事をつくっていく) 高級公務員 (の採用) を 3 割減らそうというんで、t3 / / とりあえず、今年は 1 割へらしました。 t4 / / (そうしたことを実際にやっておかないで無理やりに看板をくっつけてもだめなんで、) 若干世間には、わかりにくいかもしれないけど、t5 / / そういう地道なことをやりながら、(10 ぐらいの省に縮小したら、うまく機能する、) そこまで考えでやるのが、自由民主党の . . . t6』

t1 I just said that we made some foundation work.

t2 We have encouraged the exchanges among different ministries so that emerge and realignment will go smoothly.

t3 Also we are trying to reduce the number of career Public servants.

t4 And as at the first stage, we cut it down by 10 percent. And our goal is to reduce by 30 percent.

t5 Maybe it's not so explicit how we tackle the administrative reform.

t6 But step by step, we will be able to reach the final goal.

発言 (9)

『いあ、それは、加藤さん、おかしいんだよね。 / / いまの各省庁の課長さんの皆さんの交流をしたり、いろいろな話し合いの場をもうけたりするのは (昔から) やっているのですよ。 t1 / / (なにも、いま、ここ 2, 3 年の間にはじめてやったということではなくて . . .) そういう問題ではないですね。 t2 / / 事柄がちがいますよ。 t3 / / 要するに、やるか、やらないかということで、t4 / / ここ 1 月足らずの間に、自民党がだす案は、t5 / / (橋本総理をはじめとして、) はじめ 14 といってみたり、t6 / / それから今度は 11 となって、 / / 最近 10 なんて、 / / まるでころころ案がかわっていく、t7 / / これはいったいどうということかと . . . t8』

Not is not....because right....

- t1 We have been doing such an exchange work for more than a few years.
- t2 I think that is not a question.
- t3 You are not ?? talking this issue.
- t4 The question is whether you do or not.
- t5 For the past month or so, the LDP presented a bill, a plan for administrative reform.
- t6 And first you mentioned that agencies will be reduced to 14.
- t7 And then somebody said 11.
- t8 And then somebody said 10.
And it's so changeable.
I wonder what it is.

発言(7),(8),(9)を通していえることは、発言の前半部分の省略が、後半の主張を弱めてしまうことがあるということである。同時通訳では、時間の制約のために、要約したり、省略したりすることは、さけられないことである。もし、これが許されないとしたら、同時通訳は不可能である。おおくの場合、省略された部分が、後の発言内容に影響しない。しかし、小さな省略が、おおきな間違いにむすびついてしまうことがある。

発言(7)では、発言の初めの、15の省庁に統廃合する法律を、昨年暮れにだしているということが、省略されている。発言のおわりの部分で、それを全く無視しておいて、いまそれをいいだすといことにたいして、くりかえし異議がのべられているが、昨年暮れにすでに提案されていることが述べてあれば、発言全体が論理として筋が通ったものになる。

発言(8)は、高級公務員の採用を3割減らすというところを、採用をおとしたために、公務員を、本年は1割減らし、将来は3割減らすことになってしまった。発言(9)においても、昔からやって来ているものを、いまさらもちだすということえの異議が、その部分が要約されているために、発言者の感情的な反発の気分が充分につたわっていない。

ここまでは、発言ごとにわけて、内容を見てきたが、これからあとは、司会者、ニュースキャスターの発言も含めて、全体の文字化資料を掲げる。

出席者は、発言順に、菅(民主党)、志位(共産党)、西岡(新進党)、加藤(自民党)、伊藤(社会党)、園田(さきがけ)の各氏である。

(司会者)(民主党設立委員会の)菅さん、あのまあ、新しい政党としてやはり民主党もこれから行政改革を訴えていくということになると思いますけれども、具体的にはどういうふうか。

Now we ask Mr.Kan.

Now the LPD will also appeal other principle of administrative reform. What's the concrete plan?

(菅)ええ私もあの細川政権時代あるいは今の自社さ政権の時代ずっと行政改革に取り組

んできたんですが。//やはりあの何かなぜ行政改革が必要かという根本がまずあると思うんです。//あの国民のニーズとか社会が非常に変化してきているにもかかわらずですね。//行政というのは、昔の仕事はそのまま維持しようとして//新しい仕事はそれに加えて付け加えようと//、ですからどんどん大きくなってスクラップアンドビルドがまあできなくなっているわけです//。で、それを換えようと思って//まあ、各党、各政治家、がんばるんですが//お役人は何千何万といてですね//、(そればかりやっていますから、何て言いましょうか)、息が切れてしまうんですね//。(それで私はこの行政改革をすすめるには)、行政改革をすすめるための機構というものをきちんと用意する必要があると思うんです//アメリカにはGAOというですね(日本でいう会計検査院という行政観察局をあわせたような組織が行政ではなくて)、国会の中にかれているわけです//。5千人くらいのスタッフですが、あのそういうものですね。国会の中に行政がやっていることをきちんとチェックしてですね/ここはおかしいじゃないか、もういらぬんじゃないか、そういうことを常にウォッチし、提案する//、そういう組織をまず作りたいと//、これは今、法案要綱まで用意してますので/民主党としては。ある段階できちんと提案したいと思っています//。(それともう1つ根本は)、今、大蔵省改革がいろいろ言われていますが/、(その中の中心はですね、やっぱり予算編成のあり方を)。今までのような縦割りの/ (下から積み上げていって、去年が100に対して今年は110にするといったような発想)ではなくてですね/、大きい意味の変化の中ではもう半分でも5分の1でもいいんだという/、そういう形ができるように/、(横断的な形で予算編成をするというその根本の変更が必要ではないか)、(あ、これも民主党としてあの、今まとめでですね)、ある段階で出したいと思っています。

In the ruling coalition party , I have been engaged in administrative reform.

Why do we need administrative reform ?

I think we have to have the principle in supporting the needs of the reform.

The social needs , the needs of the people , have been changing constantly.

But , the administration are trying to keep to the traditional framework.

And there is a new job to be done.

It has been added to the conventional framework.

There is no scrap and built.

And therefore it is our goal to change.

And all the parties and statesmen are trying to change.

There are thousands of public servants and bureaucrats.

And they become worn out in trying to change traditional framework.

Therefore we want to try to change the administrative reform.

We must have an organization to carry out the change.

There are GAO , General Account Office , in the United States , which is established in the Parliament comprising about 5000 members or in the Congress in the United States , which checks behaviors of some actions of some administrations and suggest what is to be deleted and to be promoted.

That is a watchdog organization.

I think that should be established in Japan.

Now the draft has been proposed.

And we the democratic party of Japan will submit the proposal.

Next there is much said about the financial ministry to be reformed.

Rather than the vertical organization , there has to be a different approach not only to

reduce the number of the ministries of the sections.

Rather if there is a project which is badly needed for the society , but there is other project that can be reduced to one-fifth of the weight of the significance of supporter society.

Then the budget compilation should be allocated to according to the significance or the importance of the project.

I think such an approach will also be proposed.

(キャスト) 共産党の志位さん , 共産党としては行政改革にはどういうふうに取り組む考えでしょう .

Now, Mr.Shki , of the JCP , Mr.Shii , what is your position about the administrative reform?

(志位) 私は行政改革の要というのは政官 (財) の癒着 , ここにあると思うんですよ / . で , 国民の皆さんがですね . 今 1 番政治に対して不審を抱いているのは / , 政と官が一緒になって財界を守る政治をやると / , この護送船団行政といいますか , / そういうありかただと思うんですね / . (で , 薬害エイズの問題では) , 製薬会社を守る政治をやる / , (住専の問題では大銀行擁護の政治をやる , それからゼネコンの問題では) 大手ゼネコンのいいなりですね . 大型公共事業の発注をやるまこういうことですね / . (政治のありかた , 行政のありかたに) 今メスを入れる必要があると思うんですね . / / 私たちはそういう点ではですね , まず企業献金の禁止 / , (それから高級官僚の天下りの禁止) , それから国民の前にですね , あの行政をガラス張りにする情報公開 / , そしてですね , (あの新議会政治といいますか) . あの土光委員長以来ですね . 財界がいろんな政策決定機関にどんどん乗り出して行って . 国の政策を財界で決めてしまう / / というですね , あのあり方 , こういうところみきちんとメスを入れるか入れないか , / / (これがあの私は行政改革に本当に真剣かどうかのわかれめだと思うんです) .

Yes , I believe the cracks of the administrative reform is to break down to the declusion between the government and bureaucrat and so on.

And what is the lack of the credibility by the people is that so called convoy method where everybody is trying to protect each other.

For instance , statesmen are trying to protect a medical sector.

In the general contractors , and a major company will have to say in obtaining procurement order from the government.

And in all the inclusion must be broken apart and must be broken down.

Therefore we propose the prohibition of the political donations by the companies .

There should be total disclosure of the information.

And also ever since we had a Mr.Doko , the financial sector had views and had submitted the proposal to the government.

I think these allows of the reflection about the views on the side of the government has to be changed.

(西岡) あの菅さん / , (ちょっとお尋ねしたいんですけども) , 菅さんは今 , 橋本政権の国務大臣ですね . (この時点において) , (ですから今おしゃったようなこと) , 何で今までその内閣の中で具体化するってことができなかつたんですか .

Now we ask Mr.Kan , the DPAJ founding committee representatives.

Are you a Minister in the Japanese government?

Why is it that you are not able to immediately take up all suggestions and carry out and implement them ?

(菅)ま、例えば、あの審議会(の公開などではですね)、(厚生省の中には)中薬審議会というのがあってですね、(なかなかきちんとした公開のルールがないんですが、まああのの間)、それを公開するためのですね、いろいろな手当てを尽くしまして、(あのかなり改革の方向で進んでいます。)/あの、ま、厚生省の中の行政改革というか、そういうものについては私なりに取り掛かれるものから順次とりかかっています。/つい最近のシルバーマークの問題...

For instance, there is a council...

In the central pharmaceutical council, there has to be an attempt to disclose the information.

There has been a successful reform to certain degree.

In the Ministry of Health and Welfare, I have been making efforts in order to carry out the administrative reform, step by step.

For instant, recently, in regards to silver mark level

(西岡)私は国務大臣としてお尋ねをしているんです。

Now I'm asking you the capacity as a Minister of State,

(菅)ですから国務大臣としてですね。/例えば、(ついさきだっても)、経済企画庁長官の提案で、(規制緩和の提案がありましたけれども、)/ま、厚生大臣としてだけでなくですね、/例えば、ある場面でしたか、(あの農地についても)(現在の農地法というのが、)(非常にやっぱり)小作制度復活防止のようなものがまた残っているわけです。/もう50年間、小作制度が復活するなんてことありえないわけですから、/ま、(例えばそういうものも見なおしたらどうですかということ)閣僚懇談会の席でも私なりに申し上げたんですが、/(そういうことにうちは私なりにとりくんでおります。)

Yes, that particular capacity.....

For instance, I was suggested by the Economic Planning Agency that deregulation should be taken place.

Not only as a Ministry of Health and Welfare but also....

In some cases, for instance, in regard to agricultural land, there was an agricultural land law which prevents the revival of small land owners system.

And there has never been revived for the last 50 years.

So I suggested at Ministerial Cabinet meeting to the agricultural Minister.....that. . perhaps. . the possibility of the revival of the law.

(西岡)だけど申し上げて指摘した、国務大臣として、そして絶対多数の与党をもっておられてやらないんでしょう。/今度の選挙でやりますといっても/どうも納得できな

いんですよ。

Well, even if you would propose and submit, it is not implemented, it is of no use.
Perhaps you will pledge in the coming election, but I cannot persuade.

(菅)それはでも西岡さんも(長い間ですね, 政権与党におられて)閣僚もやられた中でですね, //じゃあ, なぜ長い間これだけ大きく膨らんだ行政に対してメスが入れられなかったんですか. //ですから,(それはまあ,)それぞれの立場で努力をしてるかどうかということ, //(ちゃんと見て頂きたいと思っています.)

You also served as a Minister.

Why is it for itself so long time.. the government has become so big that you are not able to streamline.

That is all depends how much efforts is being actually carried out by respective persons in responsible positions.

(加藤)よろしいですか, 加藤ですけれども. //あの今の論争を聞いていまして, //私, やはりあの菅さんがですね, //(今度の内閣で大変存在の大きい,)(そしてある意味では)人気のある政治家になったわけですが, //(どうしてかといいますと,)やはりエイズの問題について厚生省が持っている情報を(お役所の反対がありながら)あえて踏み切ったと, //つまり政治家が役所に対して優位に立ったと// (それから情報を公開したと, そういうところにあったと思うんですね.) //ですから私は今, 国務大臣としての菅さんが何も仕事してなかったではないかというのは, そりゃちょっと西岡さんの方が不適切ではないかなというような感じがします. //

Now, I'm Kato, the LDP.

I would like to suggest in responding to Mr.Kato's comments.

Mr.Kato, rather Mr.Kan, the Health and Welfare Ministry has been very popular.

His views are being heard. because he confronted the government and released the document related to the AIDS scandal.

And that is the bureaucrat....

The Health and Welfare Ministry took the leadership over the government.

And I believe that Mr. Nishioka has maybe wrong...just....criticize that the things has not been implemented.

(西岡)いや, 私が申しあげてるのは行政改革をどうやるかということ// (について.) 今まさに総選挙で国民の皆さん方の真意を問うという直前にきてる中で, //具体的なことをご提案になろうとしていて. //それは内閣としてもまた与党としても菅さんとして// (も具体的なことに取り組もうと思えば, 個々の問題ではありませんよ.)

Well, we are discussing about administrative reform.

And people are interested in that people will judge whether the administrative reform had been carried out or not.

Therefore we are proposing what is to be done.

As a cabinet member and also as a ruling party, we have to tackle the Problems.

(司会者) 西岡さん, すみません, あのこの行政改革の問題につきましては, ちょっと一旦おきまして. // まだ聞きたいことがたくさんございますので, // (次に党によって対応のしかたが別れています) 消費税について皆さんにうかがっていきたいと思います. // 今日との与党での政策責任者会議では予定どおり来年 4 月から 5 %に税率引上げを実施するということで確認されたということですね. // つまり 3 %に凍結はしないという方針を確認したということなんですが. // 加藤さんこれは.... //

And Mr.Nishioka, let us stop the discussion about the administrative reform.

There are many other issues that we have to discuss.

Let's discuss about consumption tax, that has to be discussed.

Now the ruling party had decided that consumption will be hiked up to 5% starting in April and that was confirmed.

It was not frozen at the level of 3% .

Now Mr.Kato, of the LDP, the Secretary of General what is your view?

(加藤) あのまだ政策調整会議の方から, // 幹事長レベルまであがってきませんけれども, // 与党としては // (責任を持ってですね. 財政問題を考えていかなければいけない.) 5 %という方針をですね, やはり守っていかなければいけない. // (ただ, 非常にあの苦慮しておりますのは,) あの 2 年前そうやって大変な国民的な議論をして // 決めたことなんですけれども, // まだあの突然なんか 2, 3 ヶ月前にですね, 何の議論もなく決めちゃったんじゃないか // (というような誤解があることなんですね.)

(それからまた, 経済事情も, いろいろ変化しております.) ですから, あの, 5 %という基本は堅持しながら // これからそういった不満の点, 国民の皆さんの心に落ち着いていない点, 最近の低金利の点, // そのへんをどうしようか, これからそのへんの議論はまだこれからつめていかなきゃならんと思っています. //

From the policy coordination council, it has not been officially proposed to us.

As a ruling coalition, we are going to keep to our position of maintaining 5% of a consumption tax hike.

Two years ago, there was a nationwide discussion and we finally decided to raise it by 5% .

But suddenly 2,3 months ago, they came up some misunderstanding that this 5% point tax hike had been irresponsibly decided.

We are going to stick to the 5% tax hike.

However we are going to listen to views of the people what are their dissatisfaction, what is their concern over all interest rate situations.

And so they are lot of discussed.

(キャスター) 加藤さん, // あの党内にはですね, // ま消費税率のひきあげを凍結すべきだとういうような意見が自民党内にもありますよね. //

Mr.Kato, in the Liberal Democratic Party, there is a view that it should be frozen at three percent point, is it correct?

(加藤) え, // (あの,) 党内には 300 人を越える集団ですから, // 大変な議論があります. // しかしあの今のその単純に凍結という議論よりですね, // この来年までの間, ど

うやって国民の負担という問題、特に低所得層の人たちの問題について考えていくべきなのか / / そのへんの議論が今いろいろ激しく行なわれているところですね。 / /

Yes, some LDP members, because it comprises more than three hundred members, there are different views held.

But at the same time now simply to freeze it, rather, we have the views suggested that up until next year we should discuss in which way the burden of the public, especially for low income bracket people could be handled and consideration be paid to those sector of the population.

Now we are discussing in earnest.

(司会者) ということは / 5% ということで、意見をまとめながらそういった措置を考えてくということですね。

That is to say, it hasn't been decided on 5 percent level.

You will try to reach the agreement within the party.

(加藤) はいあの、(まだ今議論の途中です) けれども党内の基本的なところはやはり... / / あの選挙前になったらですね、こないだまで7%、10%と言っていた人たちがですね、急に3%と凍結だという / / (ような無責任な議論は与党としてはできないと) しかし不満のあるところをどう解消していくか、そういうスタンスでものを考えております / /

Yes. The basic policy in the LDP is that we will have 5% .

Some people are saying 7%, or 10 percent, or suddenly just the before the election or just because the election they began to say 3% freeze.

But it is important that we have to resolve dissatisfaction of the people.

(司会者) はい、社民党の伊藤さん、 / / あの土井議長が復党の条件として提案しました消費税は白紙から議論しなめという方針 / / (これうけるというふうに聞いているんですけども) これとその与党の間での合意とは矛盾することになりませんか。 / /

Mr. Ito of the SDP.

The Lower House Speaker, Takako Doi, said, as the conditions of how returning to the Party, she said that consumption tax discussion has to start from the scratch.

This seems to run contrary to the agreement made among coalition parties,

(伊藤) あの、先程まで昨日、今日と与党の政策調整会議に参加しておりまして、 / / 私もその一員でございますので、 / / それからあの土井議長とも今朝がたも、いろいろとご相談させて頂きました。 / / (そういう上で、正確に申しあげたいと思うんですが、) 私どもの気持ちは2つなんです。 / / 1つは国民不審の税制はやりません。 / / (絶対やりません。やっぱりあの消費税につきましたの税率2%アップの方針を決めましたが、精一杯努力してプラスに2にしたつもりなんです、たくさんの厳しいご批判がございます。) 国民の多くの皆さんが納税者の皆さんが批判している中ですね、その税制をやるといのは私は(やはり民主主義に) 反するということだと思います。 / / (したがいまして、徹底的な努力をしなければなりません。) 1つはその本来の姿を徹底議論して頂く。 / / (選

挙中もやります。) 選挙が終わったあと、/(特別国会、十分な議論をする。) そのためには特別委員会も作ってます。//この問題、集中して(みんなで)議論してこれからの社会と国民の負担税というものを考えていきたい。./今の消費税制度は、ずいぶんたくさん
の矛盾がまだ残っておりますから、たとえば逆進性があります。// (これは例えば私の案では、)生活保護所帯とか、(年収250万、270万以下の方々にはその分の4万くらいか)お返しをします。// (そして、逆進性をなくします。というぐらいの大胆な改革をしていきたいというのが1つございます。もう1つはですね、)私どもは村山内閣の(時に)(平成6年には)精一杯努力してやってきました。//ある党の幹部は10パーセントと言われました。/また細川内閣の時にも(深夜に記者会見して)7パーセントと言われました。// (やっぱりこんなことはあってはいけないと思います。) やっぱりこれからあの私どもが必死に努力をいたしまして、(大型の所得税減税を1兆6兆5千億円やりました。福祉の財源も確保しました。地方財源のために、やっぱり1パーセントあげましょうということもやりました。) //ギリギリやってそれを含めまして2パーセント、1パーセントということを知りましたのでギリギリのそういう努力は是非ご理解頂きたい。// (選挙中も)一生懸命そのことをご説明するつもりです。//これからの国への負担と、社会問題を真剣に考えて下さい。//同時に国民不審の税制強行はやりませんと言うのが、今、議論している私どもの共通の気持ちで(もちろん社会党は特にそのことを強調いたしております。)

Yesterday and the day before yesterday, we held the policy coordination committee.

I'm a member of that.

And this morning also, we discussed this matter which Miss Takakoe Doi.

And there are two points.

The first one is that will not introduce any tax system which will cause some distrust on the part of the public . general public.

And we discussed the introduction of the hike of the consumption tax, but there are many many difficult problems that we had to calm.

So I don't think that we should introduce some tax system which will be against the will of the general public.

But an important thing is that we have to have the thorough discussion on that.

And for this purpose, we have to form that special committee after the election.

We want to ask the general public to join (of) the discussion what kind of tax system should be implemented.

And we have the (regressional) regressive tax system.

And for the poor people, the low-income people, then some tax return should be approved in order to help those low-income people.

And Mr. Murayama was the Prime Minister.

We made a lot of efforts.

And some say that it should be increased to 10 percent.

And under the Hosokawa Cabinet, it was said to be increased to 7 percent.

But we were against this idea and we try to decrease the spending of large margin.

And we propose that it should be 1 percent hike.

And we made utmost effort to keep the level as low as possible.

And we want to sincerely explain this to the general public.

We would like to ask others to think about the future of Japan.

And we will not introduce the tax hike which is completely against the general

public's will.

(司会者)つまり税制の5%というのは確認した上で、/徹底的に税制について議論をしていく考えていくということですね。//

So you say that you will keep the line of 5% level but you will have that discussion on that.

(伊藤)その5%を前提にしてあとまた考えるという言い方はおかしいですよ。//その大前提は国民の理解を得ることが大前提なんです。// (その前提をきちんとおいた上でどおしてもこれは必要なんですよと、あの無責任なことはいえませんが、税金の問題でうそつく政治家もいます。そんなことはしません。)我々は精一杯努力をして正直政治家でやりたい。そういう気持ちなんです。

No, it is not the correct understanding.

The basic assumption is that we have to gain the understanding of the general public and so they're reflecting the general public's will.

We have to have the very sincere discussion.

And in order to respond to the public opinions, we want to do utmost efforts.

(キャスター)そうしますとですね、来年の4月からの引き上げというのも改めて議論をするということですか。

Then you mean that you will start your discussion from the scratch.

You are not sure or you are not agreeing completely upon the introducing the hike to 5% starting in April next year.

(伊藤)(はい、あの、様々な議論を活発に多方面にやって頂きたいと思います。ただ私どもが不真面目だったわけはありませんで、)やっぱりどおしても3%から5%、1%は地方の方へ、(そして福祉のためにまわす。)これはどおしても必要な改革だと思います。//と、言うことはよく私どもがご理解頂けるように真剣にご説明申し上げたいと思っております。

And 3 to 5% for the central, 1% for the local government, and that is our basis.

And we want to give thorough explanation on that.

(司会者)はい、さきがけの園田さん、/さきがけは一貫して安易な方向転換は信頼を損なうという姿勢ですね。//

And Mr. Sonoda of Sakigake, Mr. Skigake, Sakigake Party, has been saying that we should not change the policies quite easily because this may cause some public distrust.

(園田)(ええ、その通りですね。これはあの景気対策としての)減税を3年前から先行させ、// (またあの制度的な減税も先行させているということ、まあ改めて説明する必要はないと思うんですが、)ただ確かに国民のかたがたのこの反発といいますか、非常にそういうことは私自身も知っております。//しかし、この政党や政治家というのはこれから

のことについてやっぱり責任を持たなきゃならん。／／ここを、私は丁寧にですね、一生懸命有権者の方々に対して説得をし、説明をするということ、／／むしろ選挙戦を通じてやるべきだと思いますね。／／（それからもう1つ大事なことは、さっきから議論されています行政改革、これに関連性がありますから、あのあとでまた申し上げますが、）行政改革については、選挙が終わったら直ちにどなたが政権を取られてもですね、その行政改革を個別具体的に手順を示して、／／一部はあの4月からの消費税の移行の実施前に、実施していくという姿勢を示すことが私は一方ではたいへん大事なことなんじゃないかなというふうに思っています。

And three years ago, we proposed and decided that some tax cuts.

And I understand that the general public oppose the idea of increasing the consumption tax.

And politicians have to take the responsibility for the action for the worse of themselves.

And so what is needed here is to give the thorough explanation to the general public.

And we will do it through our campaign activities.

With regard to an administrative reform, after the election, any government has to start the process, and it should show some concrete procedures.

And to realize that, before introducing the tax hike in April next year, these procedures towards the administrative reform should start.

(司会者) さて西岡さん、新進党ですが、／消費税率は(今世紀中は)凍結と、

Mr.Nishioka, of New Frontier Party, your, your party's idea is that it should be frozen at the level of 3 percent at least until (at) the end of this year,

(西岡) そうです。／／(今の日本の経済の実体は非常に厳しい状況にあると、新進党としては認識しているわけです。)で、そのために、ここで2%の消費税率をひきあげる、てことになると、だいたい経済成長の0.7%ぐらいはマイナスの要因になるし、／／物価も1.5%程度は上がるのではないかと、／／むしろ今日本の経済を本当に建てなおさなければいけない時期だと、／／(この時期にここ2年ばかりの間のいろんな政党の、ま、結里でもあろうと思いますけれども、)この時期にやはりこの消費税率を引き上げるといことは、日本の経済を非常に悪い状態にますますしてしまうのではないかと、そういうことを私の方としては考えているわけです。／／そこで先ほどから、与党三党の話を承っていて、ちょっと不思議なんですけれども、閣議決定をされたことについては、与党連立の三党としてはどういうふうにお考えなんですか。

Yes, you are right.

Well, the 2 percent of the tax hike may affect the Japanese economy and this will give some negative effect of point 7 percent on the Japanese economy.

And the prices are expected to increase by 1.5 percent.

And we are in the very serious situation.

We have to do our utmost effort to reconstruct Japanese economy.

So it is not a good idea to increase the consumption tax at this timing because this may lead to the deterioration of the Japanese economy, and that is our concern .

The three coalition parties have been discussing this matter.

You should have agreed upon this important issues, because you decided this at the cabinet meeting.

It seems that you are saying something different.

(加藤)あの、閣議決定したこと、ちゃんとやっているわけでありますから、来年4月から、その実施するという方針はその閣議に書いてあるわけであります。// (またこれから党内の議論も続けていきますけれども、)もしあの本当に来年の4月からの選挙が終わったあと考え直す、てことであればそれは閣議決定しなおすこともありますから、//閣議決定ってのが問題では僕はないと思うんですね。

Yes, we agreed upon these things at the Cabinet meeting and there is no change about that.

And of course, maybe possible, that the Cabinet's decision will be changed after the election.

So it does not mean that we have to always be stick to the Cabinet's meeting decision.

(西岡)そうですか、連立政権を組んでおられる各政党の三党の話、今、承って、何となく.....決定されるはずの政策を選挙の前になってから特に社民党さんなどでは、よく変えておられるようにしか聞こえないんですね...

じゃあ、やっぱり5%ってことはもう決定済みだと、そういうことですね、

Well I can't take your opinion.

It seems that you agreed upon certain policy issues.

But it seems that some coalition parties are changing their ideas, especially the SDP, as the election is approaching.

So you said that three coalition parties decided that tax will be....

訳出された英語を手掛かりにして、通訳者が発言をどのようなまとまりとしてとらえているかを調べていくと、通訳者の仕事は、発言を情報のまとまりごとに英語に変えていくという仕事を繰り返しているように見える。しかし、時には、あいまいな情報にたいして、情報を補ったり、発言を要約したりもする。このことから、通訳者は、情報のまとまりごとに処理しながら、一方では発言の全体に対する処理も絶えず行うことで、必要な情報を補ったり、省略したり、要約したりすることができるのではないかと考えている。

省略や要約が、通訳者が情報の処理に追い付くことができないという消極的な理由で起こることがある。このような場合には、大切な情報がぬけてしまう。

ここでは、これらの処理の一つひとつが、具体的に資料のどの部分に対応するかを示すことをしなかったが、さらに資料を詳細に検討したいと考えている。

この研究は、通訳者のアウトプットがどのような過程でできあがってくるかを問題にしたものである。もとの発言と通訳者の通訳内容を比べることによって、同時通訳者の作業は、どのようなものを明らかにすることを試みているわけである。

これまで、通訳者の主観的な印象を手掛かりにしてしかいわれてこなかった、単なる言

葉のおきかえではない同時通訳者の仕事というものが、実際に何なのかということをも具体的にしめすことができたこと、また、現実には通訳者の主観的な意図に反して、単なる言葉のおきかえに終わらざるをえない部分もあることをしめすことができたこと、以上の二つのことは、今後の通訳研究、特にほとんど研究が行われてこなかった日本語から英語への同時通訳研究に対して、出発点にたつものと考える。

ここでおこなったような研究の方法に対して、通訳者側からの批判がある。通訳者の作業を、文字に書き表して、そのうえであれこれと言われたくないということである。確かに、同時通訳という仕事自体が、その場限りのものであることを前提に成立しているものである。分析にあたっては、文字に書き表したものは仮のものであって、あくまでも音声情報を分析するのだということを、いつも頭にいれて事にあたらなければならない。

ここに掲げた全体で30分あまりの録音から文字化資料を作るだけでも、録音時間の少なく見積もっても50倍以上の時間が必要である。この資料は、通訳研究のための資料として公開したい。この資料を研究に使う方は、筆者たちのもとに、録画テープ、録音テープがあるので、コピーして利用していただきたい。

なお、資料は、政治家が、放送で、有権者に対して述べたものであるもので、著作権法には触れない。通訳者の権利については、放送でオンエアされ、公開されたものであるということ以外には、本当のところどう扱ったらよいかわからないが、通訳研究は、このような資料なしには、進められないということを通訳に当たられた方には、理解していただき、寛容をお願いしたい。また、この資料から、通訳者個人の評価に結び付くようなことは、行ってはならないことは当然のことである。

(1998.2.16)